

瀬田東幼稚園

日時：2015年10月28日（水）13:30-17:00

2015年11月4日（水）9:30-16:00

場所：大津市一里山 2-20-1

（対象：4歳児・5歳児 計150名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

五感で体験しよう！

普段は意識していない五感を意識してみましょう。

- 木によって違う木肌の温度を比べてみる。
- 目を閉じて森の音を聞く
- 桜の葉っぱの臭いをかいでみる。
- カメラゲーム（二人組で一方がカメラになって一瞬で捉えた自然を探す）
- 桜の葉っぱを比べたり、風に飛ばしてみたりして、葉っぱの違いを感じる。

自然が、一つひとつ違うものに見えてきました。



へー、木の温度って違うんだー。



葉っぱを風に飛ばして、上手にキャッチできるかな。ヒラヒラしてて、難しいなあ。



葉っぱって、一枚一枚違うんだ。

枝ってどこから来たのかな？

子ども達が普段描く絵には、木の幹と葉っぱと実だけ。枝がありません。このプログラムは「枝のことも知って欲しい」という思いで計画しました。

まずは、できるだけ長い枝を拾っての長さ比べ。そしてグループで枝をつなげて輪っかをつくり、みんなで輪っかに入ってみました。ギュッとひっついて子ども同士が仲良くなって、まとめでは、木の違い、葉っぱの違い、そして枝の存在を強く意識しました。



どっちの枝が長いかな～比べてみよう

枝をつなげて輪っかにしたよ。

輪っかに入ってみたよ。私たちは簡単に入れた！

みんなでギュッとひっついたら、輪っかのお家に入れた！



へんしん！大冒険！！

森の木の葉っぱや枝、木の実が一つひとつ違うことに気づいた子ども達。先生がペープサートの布の上に貼りつくと、なんと動物に変身しました。一人5つの葉っぱや木の実、枝を拾って、グループごとに紙の上に描きました。



赤色の葉っぱがきれい！
これ使おう！



ドングリで電車を作ろう。
そっちは何を作るの？



人間ができたよ。他にはウサギ、虫…いろいろだよ。

いろんな葉っぱや枝を貼りつくと、あれ？何かできてきたよ。



身体で感じよう！

寝っ転がって、お空を見上げたり、目を閉じて音を聞いたりしたら、松ぼっくり探し。その後は、袋の上に乗せて運んだり、坂を駆け上がったり、葉っぱを髭にしておじいさんになりきって歩いたり、最後は斜面をコロコロ転がったりと、体をいっぱい動かして自然を感じました。

まずは寝転がってみよう



空が青いね。鳥の声、虫の声も聞こえるよ。



松ぼっくりを乗せて運ぼう！みんなで上手に運ぶの難しいけど、楽しい～



コロコロ転がろう！
気持ちいいんだよ！

プログラムを終えてのふりかえりから

- ・保育者の意識が変わると見えてくるものがあった。感じる気持ちを自分が持つことで子どもが変わることに気づいた。
- ・子ども達は感じたことを言葉に表現していくんだと感じた。自然と関わることで言葉がドンドン出てくることに気づいた。
- ・最近の子ども達はバーチャルな世界にすることが多い。しかし今日は五感を使ってワクワクしていた。そのことが感性豊かに育っていくのだろう。